

# なえぼん通信



## 11月

NPO法人  
ジャイフル

新型コロナウイルス感染症への対応を行いながら、日々の療育活動を実施しております。

目に見えないウイルスへの対応方法や慣れからの意識の薄れがないよう、  
継続した感染対策を行っております。

保護者の皆さまや子どもたちも未知のウイルスに対する取り組みによって、  
ストレスがかり大変だと思いますが、共に乗り越えていきたいと思っております。

### なえぼんでの感染対策

- ・玄関にて検温確認
- ・手指のアルコール消毒
- ・職員及び子どもたちのマスク着用
- ・利用後の机、椅子、備品の消毒（次亜塩素酸水）
- ・定期的な換気
- ・送迎時の検温確認

### 【11月のお知らせ】

11月3日(火)は祝日のためお休みとなります。

11月23日(月)の祝日はイベント企画を考えております。(中・高生向け)

最近「認知機能」を体操競技における「基礎体力」に例えています。

体操競技が各教科に相当します。国語は鉄棒、算数は跳馬、理科は床・・・といった感じで、

学校では各種目のテクニックを学ぶイメージです。

いずれの競技種目も基礎体力、つまり筋力、持久力、瞬発力、集中力、柔軟さなどが必要とされます。

よって基礎体力がないと、例えば鉄棒どころではありません。

基礎体力が認知機能(学力の土台)に相当すると考えられる一方で、学校では基礎体力(認知機能)をつける方法を習いません。学校に入るまでに自分たちで身につけないといけないのです。

もともと基礎体力のある子はいいいのですが、ない子は、鉄棒にぶら下がることもできません。

つまり黒板を写したり、数を数えたりすることすらできないのです。

これが勉強についていけない子の原因として考えると分かりやすいかと思えます。

以上の理由から、学校で先生方が教えてくれる各種目(各教科)を理解するための基礎体力(認知機能)をつけることの意義をお分かり頂けるかと思えます。

- 感染対策マニュアルを一部抜粋しておりますので、ご参照ください。
- 新しい受給者証が区役所から来た場合、お手数ですが「なえぼん」にご連絡ください。